

今年度の駅前募集広報を開始



リーフレットを配布する
募集相談員会長



活動に協力して頂いた
募集相談員と所長（右端）

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、5月30日（火）、JR鴨居駅前において、募集相談員5名の協力を得て今年度初となる駅前募集広報を実施した。

当日は、所員と募集相談員が一丸となって、「自衛官募集中です」と積極的な声掛けや募集用リーフレットの配布などを行なった。中には足を止めて話を聞いて下さる方もおり、公務員として身分が保障されることや国際貢献活動や災害派遣で活躍できることなど、自衛隊の魅力をアピールした。

また、同活動に参加した募集相談員の中には、自衛官の親御さんもあり、息子を入隊させたいと考えておられる保護者からの質問に分かりやすく回答して頂く場面もあった。

市ヶ尾募集案内所は、「地域に根付いた募集相談員の協力を得ることで、募集活動の幅が一層広がる。今後も、募集相談員の協力のもと継続的な募集広報活動を行い、志願者の獲得に繋げていきたい」としている。

県立学校長会議地区会議で自衛官募集説明



平塚秦野地区会で説明する本部長

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田 辰雄）は、6月8日（木）平塚秦野地区及び県西地区、12日（月）県央地区及び相模原地区、13日（火）横浜北地区において、5地区（85校）の学校長地区会議の場において、自衛官募集等の説明を行なった。これは昨年、神奈川県教育委員会主事に依頼し、積極的な協力を得て実現したもので、県立高校10地区（163校）中、5個地区会に対し、自衛隊の役割、募集種目及び学校説明会の必要性等について説明し、ご理解とご協力をお願いした。

本会議に先立ち、本部長から各校長先生に対し、日頃からの神奈川地本に対するご支援・ご協力に感謝の意を表すとともに、重ねて学生に対し、「職業の選択肢」の1つとなるような説明会実施の協力を依頼した。

本説明では、自衛官の採用種目、特に自衛官候補生及び曹候補生に関してメリット等、資料等だけでは分からない事項を主に紹介し、自衛隊に対する理解促進を図った。

神奈川地本は、残り5個地区に対しても7月以降の実施で調整中であり、「今後も県下校長会との緊密な連携により厳しい募集環境を克服し、任務達成にまい進する」としている。